

那覇市医師会ニュース

発行 那覇市医師会
責任者 会長 山城 千秋

マスク不足解消への取り組み (那覇市及び企業等からのマスク寄贈)

副会長 玉井 修

新型コロナウイルス感染症により市場からマスクが消え、医療機関でも大変困惑しております。その状況の中で、那覇市医師会会員施設や高齢者介護施設の感染対策の観点から、具体策として、現在、那覇市に防災用として備蓄しているマスクを提供して頂けるよう2月26日(水)に城間幹子市長へ要望致しました。

その結果、2月27日に提供を受けた3,000枚は高齢者及び慢性疾患等が多い高齢者介護施設へ配布し、追加で3月6日に提供を受けた3,000枚は、マスク在庫状況アンケートにて、在庫がない、或いは1週間以内でマスク在庫がない、と回答した医療機関に対し配布致しました。

その後、那覇市への要望やマスク不足の状況を心配した那覇市民の方(シロマさん)から「使ってください」とだけ告げ、医師会事務局へ950枚のマスクの寄贈が2月29日(土)にありました。寄贈いただいたマスクは高齢者施設及び小児用マスクは沖縄南部療育医療センターへ配布しております。

3月18日(水)には沖縄ケーブルネットワーク株式会社(大熊茂隆社長)より「感染症拡大防止のために役立ててください。」と2,000枚のマスクの寄贈がありました。

3月19日(木)には株式会社ポケット(中沢初絵社長)、株式会社サニーコネクト(川満昇治社長)より10,000枚のマスクの寄贈がありました。

また国の関係省庁の備蓄マスク250万枚が各都道府県に配布され、沖縄県には20,000枚が配布され、今回、沖縄県医師会を通じ、当会へ約5,000枚の配布がありました。

企業からの寄贈と各省庁からの提供マスクがトータル約17,000枚あります。

早速、3月21日(土)より全施設に配布しておりますので、医師会事務局にて受領をお願いします。



(城間那覇市長へマスク提供の要望書を手渡す山城会長)



(沖縄ケーブルネットワーク(株)より2,000枚のマスク寄贈)



(株式会社ポケット、株式会社サニーコネクトより10,000枚のマスク寄贈)